

長徳寺便り

発行

時宗
不登山長徳寺
住職
渋谷真之

一遍上人 岩手の旅

「聖絵」聖塚場面複写

一関市藤沢町保呂羽の長徳寺（渋谷真之住職）に檀家の男性が時宗の開祖一遍上人の足跡を描いた国宝の絵巻「一遍聖絵」の一場面「聖塚（河野通信墳墓）」の複写絵を寄進した。河野通信は一遍上人の祖父に当たり、壇ノ浦の戦いで源氏の勝利に貢献し、頼朝の表政子の妹を妻にしたという人物。現在の北

上市に墓（聖塚）があり、複写絵の場面には一遍上人が聖塚で手を合わせる姿が描かれている。同寺は時宗の歴史や藤沢の名の由来にも関わる絵の寄進に感謝している。

国宝「一遍聖絵」 聖塚（河野通信墳墓） 本堂内掲示のお知らせ

長徳寺（藤沢）へ檀家が寄進

聖塚の聖塚は神奈川県藤沢市の時宗経山清浄光寺（遊行寺）の協力を得て長徳寺檀家の男性が秋彼岸に合せて寄進、同寺本堂に掲げられた。原本を拡大した絵は縦約2.5尺、横約2.2尺で、ヒノキ製の額を含めると縦約2.5尺、横約3尺。全17巻の

一遍聖絵を基に一遍上人の足跡を説明するパネルなども飾った。河野通信は頼朝が奥州藤原氏を攻め滅ぼした際、頼朝に仕えたが、承久の乱で敗れたことから岩手に流された。北上の地で余生を送った。一遍上人は自ら

祖父の墓がある北上の地を訪れたとされる。渋谷住職によると、神奈川の藤沢からは歴代の上人も岩手に足跡を残すようになり、同町をはじめ北上市や花巻市にも藤沢の地名が生まれたという。

26日は寄進者や施工者が出席し長徳寺で複写絵の

一遍上人の祖父・河野通信の墓に手を合わせる場面



一関市藤沢町の長徳寺本堂に掲げられた複写絵「聖塚（河野通信墳墓）」の報告法要

岩手日日新聞掲載引用

令和2年9月27日

「報告法要」が営まれ、出席者が絵に向かって手を合わせ、渋谷住職が寄進者の男性に感謝状を授けました。複写絵を寄進した男性は「地域の皆さんに絵を見てもらいお寺と地域のつながりがさらに近いものになればありがたい」と願う。渋谷住職は「寄進者や関係者のおかげで素晴らしい絵ができて驚いた」と感謝。岩手に河野通信の墓があることもその縁が一遍上人だとは知らない人が多い。室町時代に本山の上人がこの地を訪れたことが藤沢の名にも関わっており、時宗と岩手や藤沢のつながりを知ってもらえればと期待していた。



御守の御案内

【疫病退散御守】
「蘇民将来子孫家門護符」
《問合せは長徳寺まで》

| 【令和3年 年回忌表】 | | | |
|-------------|-----|----|-------|
| 一 | 周忌 | 令和 | 2年逝去 |
| 三 | 七回忌 | 令和 | 元年逝去 |
| 十 | 三回忌 | 平成 | 27年逝去 |
| 十七 | 三回忌 | 平成 | 21年逝去 |
| 二十四 | 三回忌 | 平成 | 17年逝去 |
| 三十一 | 三回忌 | 平成 | 11年逝去 |
| 三十八 | 三回忌 | 平成 | 9年逝去 |
| 四十五 | 三回忌 | 平成 | 7年逝去 |
| 五十二 | 三回忌 | 平成 | 元年逝去 |
| 五十九 | 三回忌 | 昭和 | 60年逝去 |
| 六十六 | 三回忌 | 昭和 | 54年逝去 |
| 七十三 | 三回忌 | 昭和 | 50年逝去 |
| 八十 | 三回忌 | 昭和 | 47年逝去 |
| 八十七 | 三回忌 | 大正 | 11年逝去 |
| 九十四 | 三回忌 | | |
| 一百 | 三回忌 | | |

長徳寺永代供養墓

- お墓の継承者がいない
- お墓じまいしたい
- 親類のお墓で悩んでいる
- 多数のお墓を管理できない
- 自分の納骨先を考えたい

（御相談下さい）

宗旨宗派不問 管理費不要 永代に寺院継承